



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月22日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沼 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 和宏

TEL 03-5977-5002

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	89,232	5.2	26,512	7.8	26,946	7.9	19,370	9.0
2019年3月期	94,165	4.3	24,592	10.6	24,972	10.3	17,775	6.7

(注) 包括利益 2020年3月期 17,487百万円 (4.2%) 2019年3月期 16,782百万円 (19.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	494.89		15.5	17.2	29.7
2019年3月期	445.78		15.1	16.2	26.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	157,875	128,468	81.4	3,301.09
2019年3月期	155,985	121,131	77.7	3,049.78

(参考) 自己資本 2020年3月期 128,468百万円 2019年3月期 121,131百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	27,468	2,528	10,173	73,322
2019年3月期	21,129	5,744	9,524	58,555

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		75.00		75.00	150.00	5,957	33.6	5.1
2020年3月期		75.00		75.00	150.00	5,840	30.3	4.7
2021年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00		38.9	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	9.2	10,900	20.7	11,100	20.3	7,900	17.3	203.00
通期	82,900	7.1	20,800	21.5	21,200	21.3	15,000	22.6	385.43

新型コロナウイルス感染症拡大により、医療機関への受診抑制や情報提供活動の制限など、当社グループの事業活動に影響が生じております。そのため、当社グループの業績がある程度の影響を受けることを見込んでおりますが、現時点では予測が困難であることから、その影響は織り込んでおりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期	45,939,730 株	2019年3月期	48,439,730 株
2020年3月期	7,022,576 株	2019年3月期	8,721,768 株
2020年3月期	39,140,165 株	2019年3月期	39,874,831 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2020年3月期 41,100株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期 14,598株)。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高が 89,232 百万円(対前年同期比 5.2%減)となりました。

利益面では、売上高は減少したものの、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は 26,512 百万円(対前年同期比 7.8%増)となりました。販売費及び一般管理費が減少した主たる要因は、研究開発費が 6,418 百万円(対前年同期比 37.5%減)となったためであります。経常利益は 26,946 百万円(対前年同期比 7.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は 19,370 百万円(対前年同期比 9.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、爪白癬治療剤「クレナフィン」の売上は概ね前年並みでありましたが、関節機能改善剤「アルツ」、高脂血症治療剤「リピディル」の売上減少及び海外売上高の減少などにより減収となりました。

その背景としましては、ジェネリック医薬品を含む競合品や薬価改定の影響などがあげられます。農業薬品につきましては減収となりました。

この結果、売上高は 86,853 百万円(対前年同期比 5.4%減)、セグメント利益(営業利益)は 25,048 百万円(対前年同期比 8.4%増)となりました。

なお、海外売上高は 8,012 百万円(対前年同期比 11.1%減)となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は 2,378 百万円(対前年同期比 0.8%増)、セグメント利益(営業利益)は 1,463 百万円(対前年同期比 0.8%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は 157,875 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,889 百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は 29,406 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5,447 百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

また、純資産は 128,468 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 7,337 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ 14,766 百万円増加の 73,322 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 27,468 百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,528百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10,173百万円となりました。これは、配当金の支払と自己株式の取得によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	67.6	76.0	74.7	77.7	81.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	212.0	190.3	166.1	128.1	124.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	14.3	25.3	17.9	18.3	14.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	979.4	703.1	1,295.6	1,219.8	1,556.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の業績につきましては、売上高は、「クレナフィン」等が伸長するものの、薬価改定の影響を吸収するまでには至らず、また、医薬品輸出、特許料収入も減少することから、全体としては減収を見込んでおります。利益につきましては売上高の減少に伴い、減益となる予定です。連結売上高は82,900百万円、営業利益は20,800百万円、経常利益は21,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は15,000百万円を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大により、医療機関への受診抑制や情報提供活動の制限など、当社グループの事業活動に影響が生じております。そのため、当社グループの業績がある程度の影響を受けることを見込んでおりますが、現時点では予測が困難であることから、その影響は織り込んでおりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外に連結子会社を持たない現状を踏まえ、日本基準を適用しております。

日本の会計基準は、これまでのコンバージェンスの結果、高品質かつ国際的に遜色のないものとなっていると認識しておりますが、引き続き、金融庁企業会計審議会での議論等を注視しつつ、会計基準の適切な選択につとめてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,956	59,722
受取手形及び売掛金	30,340	21,800
有価証券	11,599	13,599
商品及び製品	6,113	4,762
仕掛品	2,647	2,829
原材料及び貯蔵品	4,959	4,683
その他	1,114	938
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	103,731	108,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,668	41,821
減価償却累計額	△24,224	△25,057
建物及び構築物（純額）	17,443	16,764
機械装置及び運搬具	15,345	15,542
減価償却累計額	△12,199	△12,763
機械装置及び運搬具（純額）	3,146	2,778
工具、器具及び備品	7,380	7,393
減価償却累計額	△6,059	△6,061
工具、器具及び備品（純額）	1,320	1,331
土地	4,324	4,324
建設仮勘定	166	317
有形固定資産合計	26,402	25,518
無形固定資産	551	414
投資その他の資産		
投資有価証券	17,068	15,036
長期前払費用	4,610	4,450
繰延税金資産	2,934	3,229
その他	685	888
投資その他の資産合計	25,299	23,605
固定資産合計	52,254	49,538
資産合計	155,985	157,875

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,729	7,720
電子記録債務	1,529	962
短期借入金	3,875	3,850
未払金	3,639	2,803
未払費用	427	535
未払法人税等	4,042	2,904
賞与引当金	1,149	1,082
役員賞与引当金	86	93
返品調整引当金	7	4
売上割引引当金	314	312
その他	1,777	1,386
流動負債合計	27,580	21,655
固定負債		
株式給付引当金	—	47
退職給付に係る負債	6,642	7,303
その他	631	400
固定負債合計	7,274	7,750
負債合計	34,854	29,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,408	11,406
利益剰余金	109,057	114,869
自己株式	△26,782	△23,373
株主資本合計	117,536	126,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,524	3,116
退職給付に係る調整累計額	△930	△1,404
その他の包括利益累計額合計	3,594	1,712
純資産合計	121,131	128,468
負債純資産合計	155,985	157,875

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	94,165	89,232
売上原価	40,366	38,753
売上総利益	53,799	50,478
返品調整引当金戻入額	2	2
差引売上総利益	53,802	50,481
販売費及び一般管理費		
給料	6,826	6,314
賞与及び賞与引当金繰入額	1,649	1,481
役員賞与引当金繰入額	86	93
退職給付費用	634	476
研究開発費	10,261	6,418
減価償却費	224	231
その他	9,525	8,953
販売費及び一般管理費合計	29,209	23,969
営業利益	24,592	26,512
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	345	385
その他	112	155
営業外収益合計	464	549
営業外費用		
支払利息	17	17
為替差損	39	50
保険解約損	—	25
その他	27	20
営業外費用合計	84	114
経常利益	24,972	26,946
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	0	3
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	44	68
減損損失	—	287
ゴルフ会員権売却損	4	6
特別損失合計	49	362
税金等調整前当期純利益	24,922	26,592
法人税、住民税及び事業税	8,022	6,686
法人税等調整額	△874	535
法人税等合計	7,147	7,222
当期純利益	17,775	19,370
親会社株主に帰属する当期純利益	17,775	19,370

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	17,775	19,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△985	△1,408
退職給付に係る調整額	△6	△473
その他の包括利益合計	△992	△1,882
包括利益	16,782	17,487
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	16,782	17,487

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	23,853	11,408	97,284	△23,259	109,287	5,510	△923	4,587	113,874
当期変動額									
剰余金の配当			△6,002		△6,002				△6,002
親会社株主に帰属する当期純利益			17,775		17,775				17,775
自己株式の取得				△3,523	△3,523				△3,523
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△985	△6	△992	△992
当期変動額合計	—	—	11,772	△3,523	8,249	△985	△6	△992	7,256
当期末残高	23,853	11,408	109,057	△26,782	117,536	4,524	△930	3,594	121,131

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	23,853	11,408	109,057	△26,782	117,536	4,524	△930	3,594	121,131
当期変動額									
剰余金の配当			△5,897		△5,897				△5,897
親会社株主に帰属する当期純利益			19,370		19,370				19,370
自己株式の取得			88	△4,341	△4,252				△4,252
自己株式の消却		△1	△7,748	7,750	—				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,408	△473	△1,882	△1,882
当期変動額合計	—	△1	5,812	3,408	9,219	△1,408	△473	△1,882	7,337
当期末残高	23,853	11,406	114,869	△23,373	126,756	3,116	△1,404	1,712	128,468

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	24,922	26,592
減価償却費	2,153	2,312
減損損失	—	287
長期前払費用償却額	446	449
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△154	△22
受取利息及び受取配当金	△351	△393
支払利息	17	17
有形固定資産除却損	43	61
売上債権の増減額 (△は増加)	2,975	8,539
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,930	1,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,193	△3,576
その他	△1,928	△813
小計	29,861	34,900
利息及び配当金の受取額	351	393
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△9,065	△7,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,129	27,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,908	△2,159
無形固定資産の取得による支出	△220	△43
投資有価証券の取得による支出	△1	—
長期前払費用の取得による支出	△3,661	△400
その他	47	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,744	△2,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△25
自己株式の純増減額 (△は増加)	△3,523	△4,252
配当金の支払額	△6,001	△5,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,524	△10,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,860	14,766
現金及び現金同等物の期首残高	52,694	58,555
現金及び現金同等物の期末残高	58,555	73,322

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売並びに不動産賃貸の事業を営んでおり、業種別に事業に従事する経営スタイルを採用しております。また、各事業の運営は、事業ごとに主体的に行われ、包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業の運営を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「薬業」及び「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

「薬業」は、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売を主とし、「不動産事業」は、文京グリーンコート関連の不動産賃貸を主としております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であります。

また、共用資産については、各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注)1	連結財務諸 表計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	91,804	2,360	94,165	—	94,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,804	2,360	94,165	—	94,165
セグメント利益	23,116	1,476	24,592	—	24,592
セグメント資産	81,908	10,277	92,186	63,799	155,985
その他の項目					
減価償却費 (注)2	2,302	297	2,600	—	2,600
有形固定資産及び無形固定資産の増加額 (注)2	6,405	19	6,424	—	6,424

(注) 1. セグメント資産の調整額63,799百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注)1	連結財務諸 表計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	86,853	2,378	89,232	—	89,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	86,853	2,378	89,232	—	89,232
セグメント利益	25,048	1,463	26,512	—	26,512
セグメント資産	69,597	10,024	79,621	78,253	157,875
その他の項目					
減価償却費 (注)2	2,464	297	2,761	—	2,761
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額 (注)2	1,680	44	1,724	—	1,724

(注) 1. セグメント資産の調整額78,253百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

2. 関連情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	17,007	薬業
(株)スズケン	14,397	薬業
(株)メディセオ	13,018	薬業

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	15,890	薬業
(株)スズケン	13,776	薬業
(株)メディセオ	12,611	薬業

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
減損損失	287	—	287	—	—	287

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,049円78銭	3,301円09銭
1株当たり当期純利益	445円78銭	494円89銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当連結会計年度より、株式給付信託(BBT)を導入しております。株主資本において自己株式として計上している信託が保有する当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、当連結会計年度において41,100株であり、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当連結会計年度において14,598株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	17,775	19,370
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	17,775	19,370
普通株式の期中平均株式数(千株)	39,874	39,140

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	121,131	128,468
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	121,131	128,468
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	39,717	38,917

(重要な後発事象)

該当事項はありません。